

令和 8 年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

商 業

1 / 11 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
問題文中の会社等はすべて架空のものとする。

第 1 問題 マーケティング分野について、次の問に答えよ。

問 1 7 年後に支払う負債 ¥4,230,000 を年利率 3.5%、1 年 1 期の複利で割り引いて、いま支払うとすればその金額はいくらか、答えよ。(円未満四捨五入)

ただし、下の数表を用いること。

【複利現価率】

期数 \ 利率	2 %	2.5%	3 %	3.5%	4 %	4.5%	5 %
6	0.88797138	0.86229687	0.83748426	0.81350064	0.79031453	0.76789574	0.74621540
7	0.87056018	0.84126524	0.81309151	0.78599096	0.75591781	0.73482846	0.71068133
8	0.85349037	0.82074657	0.78940923	0.75941156	0.73069021	0.70318513	0.67683936
9	0.83675527	0.80072836	0.76641673	0.73373097	0.70258674	0.67290443	0.64460992
10	0.82034830	0.78119840	0.74409391	0.70891881	0.67556417	0.64392768	0.61391325

問 2 7 個で ¥11,900 の商品を 250 個仕入れ、諸掛 ¥105,000 を支払った。この商品に諸掛込原価の 3 割 5 分の利益を見込んで全部販売すると、利益額はいくらか、答えよ。

問 3 ¥2,500,000 を年利率 2.35% で 11 月 20 日から翌年 2 月 8 日まで 80 日間貸し付けると、期日に受け取る元利合計はいくらか、答えよ。(片落とし、円未満切り捨て)

問 4 商品は形態別に、耐久消費財、非耐久消費財、サービス、コンテンツに分類することができる。次の A～J のうち、耐久消費財にあてはまるものをすべて選び、記号で答えよ。

A 冷蔵庫 B ボールペン C パソコン修理 D オンラインゲーム E 紙おむつ
F ソファ G シャンプー H 映画鑑賞チケット I 自動車 J 乾電池

問 5 小売業の POS データやメーカーの生産計画などといった各企業のリアルタイムなデータを、システムを活用することで、原材料の調達から最終的な消費に至るまでのプロセス全体における物の動きを適切に管理しようとする考え方の略称として適切なものを A～D から一つ選び、記号で答えよ。

A SCM B CSR C EOS D STP

問 6 顧客ニーズの移り変わりが早く、競争の激しい市場においては、さまざまな部門のメンバーが一つのチームを形成し、商品開発における複数の段階を同時に進めていく方法が採用されやすい。この進め方を何というか、適切なものを A～D から一つ選び、記号で答えよ。

A 垂直的共同開発 B 水平的共同開発 C リニア型開発 D ノンリニア型開発

問 7 商品コンセプトをもとに作る試作品であるプロトタイプのうち、商品開発の初期段階におけるプロトタイプの名称とそのプロトタイプの目的を簡潔に説明せよ。

問 8 垂直方向と水平方向に情報を持ち、キャッシュレス決済の手段の一つであるコード型決済で多く用いられるコードのことを何というか、答えよ。

問9 図1の通り、日本は諸外国と比較してキャッシュレス決済の普及が進んでいない。特に中小の小売企業がキャッシュレス決済の導入をためらうのはどのような理由があると考えられるか、簡潔に説明せよ。

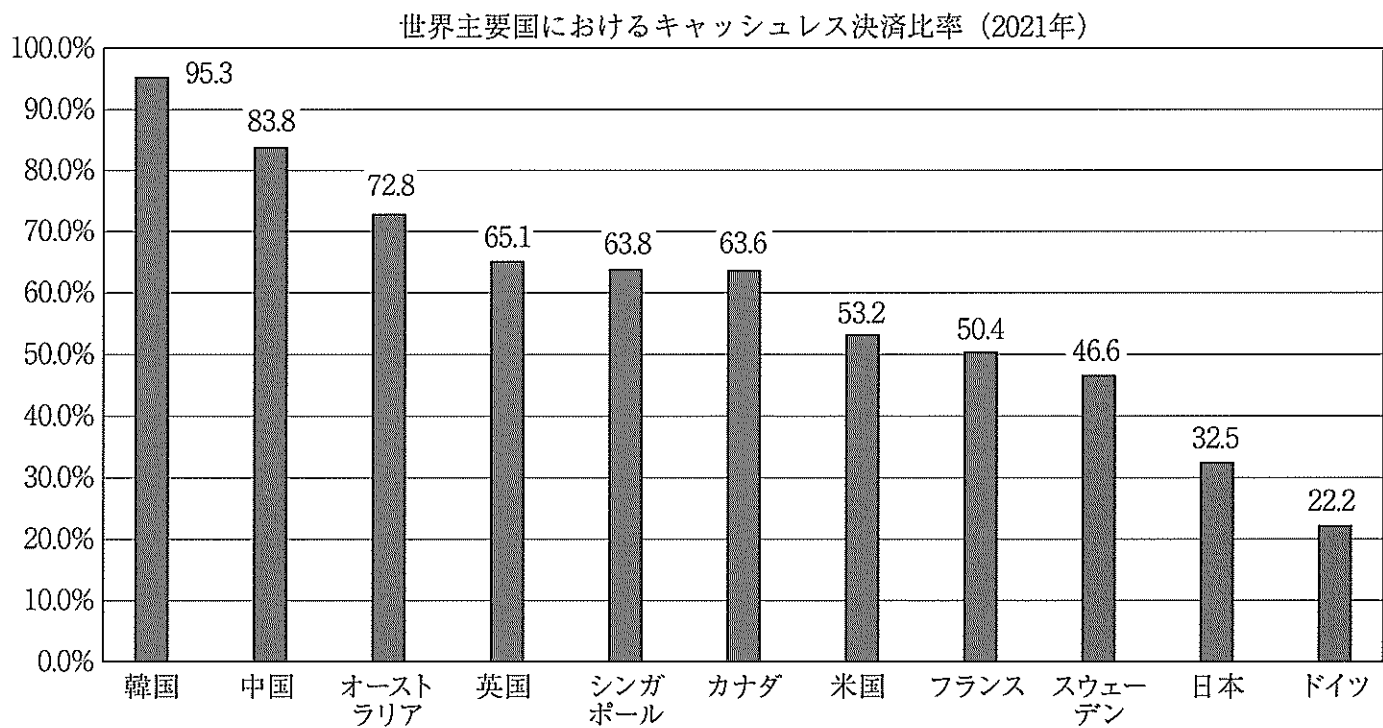


図 1

問10 次の文章の事例において、B社は知的財産権のうち、どの権利を侵害しているか答えよ。

A社は、高級なバッグを販売しており、そのバッグにはA社独自のロゴが刻印されている。A社のバッグは世界的に人気で、多くのファッション愛好家に支持されていることもあり、A社が独占的にそのロゴを使用できる権利を有している。

一方、B社はA社の人気に便乗して、A社のものに酷似したロゴを無断で使用し、外見はほとんど区別がつかないものの品質が大きく異なるバッグを低価格で販売している。

問11 ブランド・ロイヤルティについて次の（1）、（2）の問に答えよ。

- （1）ブランド・ロイヤルティの意味を説明せよ。
- （2）ブランド・ロイヤルティを高めることで企業が得られるメリットとして適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。
- A 価格競争の激化 B 広告費の削減 C 顧客離れの加速 D 製品開発費の削減

第2問題 マネジメント分野について、次の問に答えよ。

問1 ある市場に互いに競争関係にある A 社と B 社が存在している。両社はテレビコマーシャルを放映して自社製品の宣伝を行うか否かを検討している。両社の利益は以下の通りである。

- ・両社が同時期に同じ製品のテレビコマーシャルを放映して宣伝した場合、両社ともにそれほど宣伝効果はみられないが、広告宣伝費用がかさみ、それぞれ利益は 30 億となる。
 - ・両社がともに宣伝をしない場合、広告宣伝費用が削減され、それぞれ利益は 70 億となる。
 - ・どちらか一方のみが宣伝した場合、宣伝した会社のプラスの効果は大きく、100 億の利益を得るが、宣伝しなかった会社は客を取られて 10 億の利益にとどまる。

【宣伝する場合としない場合の組み合わせと結果】※左が A 社の利益、右が B 社の利益を表す。

A 社 \ B 社	宣伝する	宣伝しない
	宣伝する	宣伝しない
宣伝する	30 億、30 億 [※]	100 億、10 億 [※]
宣伝しない	10 億、100 億 [※]	70 億、70 億 [※]

この設定において、ゲーム理論の枠組みを用いて行った分析の説明として適切なものを A～D から二つ選び、記号で答えよ。

- A 両社ともに宣伝する場合は、ナッシュ均衡である。

B 両社ともに宣伝しない場合は、ナッシュ均衡である。

C 一方が宣伝し、もう一方は宣伝しない場合は、パレート最適である。

D 両社ともに宣伝しない場合は、パレート最適であるがナッシュ均衡ではない。

問2 不法行為の事例のうち、使用者責任に該当する事例を A～D から一つ選び、記号で答えよ。

- A 建物の所有者が敷地内にある古くなった塀の修理を怠り、その塀が崩れて通行人が怪我をした場合

B ペットとして飼っている犬が散歩中に他人に噛みついて怪我をさせた場合

C 会社の従業員が業務中に不注意で他人の車に損害を与えた場合

D 幼い子供が他人の家の窓ガラスを割った場合

問3 債権の担保のうち、法定担保物権に関する説明として正しいものを A～D から一つ選び、記号で答えよ。

- A 債務者が債務を履行しない場合に、債務者以外の第三者が債務者のかわりに債務の履行をする義務を負うことを保証といい、この第三者が負う義務のことを保証債務という。

B 特定の債権者が、公平などの立場から特に保護されて、債務者の全財産あるいは特定の財産から、優先して弁済が受けられる権利を先取特権という。

C 目的物を債務者または第三者が占有したままで債権の担保とし、債務者が弁済期に弁済しない場合には、債権者が、その目的物を競売して、その代金から他の債権者に優先して弁済を受けることができる権利を抵当権という。

D 債権の担保として、債務者または第三者が債権者に引き渡した物を、債務の弁済があるまで債権者が占有し、弁済期がきても弁済が無い場合には、その物を競売してその代金から他の債権者に優先して弁済を受けることができる権利を質権という。

問4 組織内における「ライン」と「スタッフ」について簡潔に説明せよ。

第3問題 会計分野について、次の問に答えよ。

問1 次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）に記載された科目の目標に関するものである。この目標を掲げる科目名として正しいものを後のA～Eから一つ選び、記号で答えよ。なお（①）には、この問で答える科目名が、（②）には、ある特定の語句が入る。

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、（②）と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) （①）について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) （②）と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。

(3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な（②）と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

- A 簿記 B 財務会計Ⅰ C 財務会計Ⅱ D 原価計算 E 管理会計

問2 次の文章は、会社法に規定される会社について説明したものである。この説明の会社形態として適切なものを後のA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

会社法では、この会社形態による会社に対する出資者のことを社員と呼ぶ。ここに定められる社員は、会社に対してその引き受けて払い込んだ出資額以上の責任を負わない。この会社形態においては出資者と取締役との役割が明確に分かれ、所有と経営が分離している。そのため会社法は債権者を保護する観点から、会社の設立に際して、発起人や設立時の会社役員に対して、その任務の懈怠や過失行為によって会社に損害が生じた場合には、連帯して損害賠償責任を負うことを定めている。

- A 合名会社 B 合資会社 C 株式会社 D 合同会社

問3 以下の（１）～（４）までの取引の仕訳について、正しいものは○、誤っているものは×を記せ。また、×を記した場合は、その正しい仕訳を答えよ。なお、正しい仕訳の解答にあたっては、次の【勘定科目】の中から最も適切なものを使用すること。

【勘定科目】

現金	当座預金	売掛金	仮払金
前払金	建物	買掛金	未払金
前受金	所得税預り金	社会保険料預り金	資本金
繰越利益剰余金	売上	仕入	給料
支払運賃	租税公課	修繕費	損益

（１）決算日現在、損益勘定に記載された期間収益の合計額は 8,795,000 円、期間費用の合計額は 6,728,000 円であった。損益勘定の貸借差額を繰越利益剰余金勘定へと振り替える。

借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
繰越利益剰余金	2,077,000	損益	2,077,000

（２）仕入先である A 商店から商品 100,000 円を仕入れ、商品代金のうち 30,000 円は先に支払っていた手付金と相殺し、残額を掛けとした。商品の運送代 2,000 円は当方負担のため、運送業者に現金で支払った。

借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
仕入	70,000	買掛金	100,000
仮払金	30,000	現金	2,000
支払運賃	2,000		

（３）建物の改良と修繕を行い、代金として 643,000 円を月末に支払うこととした。なお代金のうち 400,000 円は建物の改良、残額は破損箇所の修理にかかるものであった。

借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
修繕費	643,000	未払金	643,000

（４）給料日につき、源泉所得税 16,000 円及び社会保険料 18,000 円を差し引いた残額 414,000 円を当座預金口座から振り込んだ。

借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
給料	448,000	所得税預り金	16,000
		社会保険料預り金	18,000
		当座預金	414,000

問4 当社の会計期間は20X4年4月1日から20X5年3月31日までである。次の【決算整理事項】を処理し、当期の貸借対照表と損益計算書を完成させる場合、貸借対照表の（①）に記載される繰越利益剰余金の金額を答えよ。なお、表中の空欄（**）は各自推定すること。

【決算整理事項】

1. 決算日における当座預金の帳簿残高と当座預金の残高証明書の数値が一致しないため、原因を調査したところ、以下が判明した。
- a. 買掛金の支払いのため仕入先に渡した小切手31,000円が取り立てられていなかった。決算整理前の買掛金の帳簿残高は71,000円である。
 - b. 売掛金27,000円が当座預金口座に入金されたが、銀行から通知が届いていなかった。決算整理前の売掛金の帳簿残高は187,000円である。
 - c. 決算日に現金120,000円を時間外で預け入れた。この処理の後の現金預金の残高は793,000円であった。
2. 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により見積もる。決算整理前の貸倒引当金残高は2,000円であった。

貸借対照表				20X5年3月31日		(単位:円)	
現金預金		(**)	買掛金		(**)		
売掛金	(**)		未払金		56,000		
貸倒引当金	(**)	(**)	借入金		350,000		
商品		68,000	資本金		500,000		
備品	240,000		資本剰余金		40,000		
備品減価償却累計額	△166,000	74,000	繰越利益剰余金		(①)		
		(**)			(**)		

損益計算書				20X4年4月1日～20X5年3月31日		(単位:円)	
売上原価	443,000	売上高	689,000				
給料	151,000	受取手数料	13,000				
支払家賃	44,000						
貸倒引当金繰入	(**)						
減価償却費	40,000						
当期純利益	(**)						
	702,000					702,000	

問5 当社は以下の社債を発行後、第4期初頭に100円あたり98.2円で購入償還し、買入れ代金は当座預金から支払った。この取引について償却原価法（定額法）による仕訳と計算式について授業で説明する場合、解答欄をホワイトボードに見立てて、指導の要点を踏まえながら簡潔に板書せよ。

社債 額面総額	100,000円
発行価額	92,420円
償還期限	4年
年利率	2%

第4問題 ビジネス情報分野について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(5)の説明として適切なものを、後のA～Jからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- (1) サブネットマスク
- (2) E D I
- (3) I r D A
- (4) R A I D
- (5) D L P

- A 赤外線を利用した数メートルまでのデータ通信規格。
- B インターネットなどから対象のコンピュータに対して、管理者の権限でコンピュータの操作を行うことを可能にするソフトウェアの総称。
- C ほかのネットワークに接続するルータなどのI Pアドレス。
- D 近距離間のデータ交換に電波を利用した規格で、機器の間に障害物があっても利用できる。
- E 複数のハードディスクを搭載することで、より高い安全性や高速化を実現する技術。
- F ネットワークアドレス部とホストアドレス部を識別する値。
- G 公開しなければならないサーバをファイアウォールで内部のネットワークから隔離した部分。
- H 商品の発注だけでなく、出荷や納品、請求、支払いなどを一括して取り扱う業務管理システム。
- I 世界各国の標準化団体の代表で構成され、工業関連分野の国際標準規格を定める機関。
- J 機密情報を自動的に検出し、あらかじめ設定しておいた制御方法にもとづき、情報漏えいを防ぐしくみ。

問2 あるホテルでは、予約状況を次のようなりレーショナル型データベースを利用して管理している。後の（1）～（3）に答えよ。

処理の流れ

- ① 新規の顧客は登録の手続きを行い、顧客表にデータを入力する。
- ② 申込表は、一回の予約につき1レコード作成され申込IDは連番で作成される。
- ③ 申込明細表は、予約したプランの種類数のレコードが作成される。例えば、一度の申込で二種類のプランを予約した場合、申込明細表には2レコード作成される。

顧客表

顧客ID	顧客名	電話番号
C101	鈴木一郎	090xxxxxxx
C102	高橋太郎	080xxxxxxx
C103	佐藤桜子	070xxxxxxx

申込表

申込ID	顧客ID	受付日
R101	C101	2024/10/10
R102	C102	2024/10/10
R103	C103	2024/10/11

申込明細表

申込ID	プランID	申込数量
R101	201	2
R101	202	2
R102	204	4
R103	201	5
R103	202	5
R103	205	1

プラン表

プランID	プラン名	価格
201	素泊まり一泊二日	6,800
202	カニ食べ放題	3,500
203	自然遺産ツアー	10,000
204	温泉付き二泊三日	11,000
205	レンタカー（宿泊期間中）	15,000

（1）2024年10月3日、10月10日、10月17日に受け付けた申込IDとプラン名、申込数量を、申込数量の昇順に抽出する。次のSQL文の をうめよ。

SQL文

```
SELECT A.申込ID, C.プラン名, B.申込数量
FROM 申込表 A, 申込明細表 B, プラン表 C
WHERE A.申込ID = B.申込ID
AND B.プランID = C.プランID
AND A.受付日 IN ('2024/10/03', '2024/10/10', '2024/10/17')
 B.申込数量 ASC;
```

(2) プラン名に「素泊まり一泊二日」があるが、朝食を付けて欲しいという要望が多く、「一泊二日（朝食付き）」というプランをプラン表に追加することになった。次のSQL文の をうめよ。なお、「一泊二日（朝食付き）」のプランIDは210、価格は7,800円である。

INSERT INTO プラン表 (プランID, プラン名, 価格) VALUES ();

(3) 受付日が2024年10月10日の申込IDと、合計金額が20,000円以上であるものを抽出する。次のSQL文の をうめよ。

SELECT A.申込ID, SUM (C.価格*B.申込数量) AS 合計金額
FROM 申込表 A, 申込明細表 B, プラン表 C
WHERE A.申込ID = B.申込ID
AND B.プランID = C.プランID
AND A.受付日 = '2024/10/10'
GROUP BY A.申込ID
 ;

問3 次の表は、ある部品店の販売集計表であり、後の【処理条件】に従って、表計算ソフトウェアで作成されたものである。後の(1)～(3)に答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3	販売集計表						
4	販売店舗	商品番号	入荷数	1組あたりの個数	組数	販売価格	
5	札幌店	A04	15	4	3	6,000	
6	仙台店	C04	12	4	3	15,000	
7	新宿店	A03	21	3	7	10,500	
8	福岡店	A02	33	2	16	16,000	
9	名古屋店	B02	16	2	8	20,000	
10	仙台店	C04	11	4	2	10,000	
11	千葉店	B02	18	2	9	22,500	
12	新宿店	B03	10	3	3	9,000	
13	千葉店	C02	20	2	10	40,000	
14	札幌店	A04	27	4	6	12,000	
15							
16	価格表		型番別販売価格集計				
17	商品番号	価格					
18	A02	1,000					
19	A03	1,500					
20	A04	2,000					
21	B02	2,500					
22	B03	3,000					
23	B04	3,500					
24	C02	4,000					
25	C03	4,500					
26	C04	5,000					
			販売価格上位				
			順位	販売価格	店舗	商品番号	
			1	40,000	千葉店	C02	
			2	22,500	千葉店	B02	
			3	16,000	福岡店	A02	

【処理条件】

販売集計表は、次のように作成する。ただし、「販売価格」に同額はないものとする。

1. 「商品番号」は、部品の「型番」と「1組あたりの個数」の組み合わせである。
2. 「組数」は入荷数をもとに1組あたりの個数で計算する。計算式は「入荷数÷1組あたりの個数」で求める。ただし、整数未満は切り捨て、整数部分のみを表示する。
3. 「販売価格」は「商品番号」をもとに「価格表」を参照して価格を求め、「価格×組数」で計算される。
4. 「型番別販売価格集計」は、型番ごとに販売価格の合計を求める。
5. 「販売価格上位」は、「販売価格」が降順で3番目までの値を表示し、その価格に対応した店舗と商品番号を表示する。

(1) セル「F5」には、次の式を設定するが、その をうめよ。

= (B5, \$A\$18:\$B\$26, 2, FALSE)*E5

(2) セル「F24」に設定する式として適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A =INDEX (MATCH (E24, \$F\$5:\$F\$14, 0), \$A\$5:\$A\$14, 1)
- B =INDEX (\$A\$5:\$A\$14, MATCH(E24, \$F\$5:\$F\$14, 0), 1)
- C =SEARCH (E24, INDEX (D18, \$A\$5:\$A\$14, 1), 1)
- D =MATCH (INDEX (\$A\$5:\$A\$14, D18, 1), E24, 0)

(3) セル「E18」には、次の式を設定するが、その にあてはまる式として適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

=SUMIFS ()

- A \$B5:\$B14, \$F5:\$F14, D18&"?"
- B \$F5:\$F14, \$B5:\$B14, D18&"*"
- C \$B\$5:\$B\$14, \$F\$5:\$F\$14, D18&"?"
- D \$F\$5:\$F\$14, \$B\$5:\$B\$14, D18&"*"

第5問題 プログラミング分野について、次の問に答えよ。

問 1 次の【入力データ】を読み、後の【処理条件】に従って、【実行結果】を表示したい。図 2 の流れ図の (1)、(2) にあてはまる処理を答えよ。

【入力データ】

商品コード (Sco)	入出庫区分 (Ku)	数量 (Kazu)
× × ×	×	× × ×

(注) ×は数値を表す。

【実行結果】

(商品コード)	(在庫量)
102	40
104	50
{	}
130	102

【処理条件】

1. 商品の種類は 25 種類で、配列 Tco と配列 Tzai にはあらかじめデータが記憶しており、Tco と Tzai はそれぞれ添字によって対応している。

配列

	(0)	(1)	～	(24)	
Tco	102	104	～	130	(商品コード)
	(0)	(1)	～	(24)	
Tzai	40	50	～	102	(在庫量)

2. 入出庫区分は 1 が入庫、2 が出庫である。
3. 出庫量が在庫量より多い場合はないものとする。
4. データにエラーはないものとする。

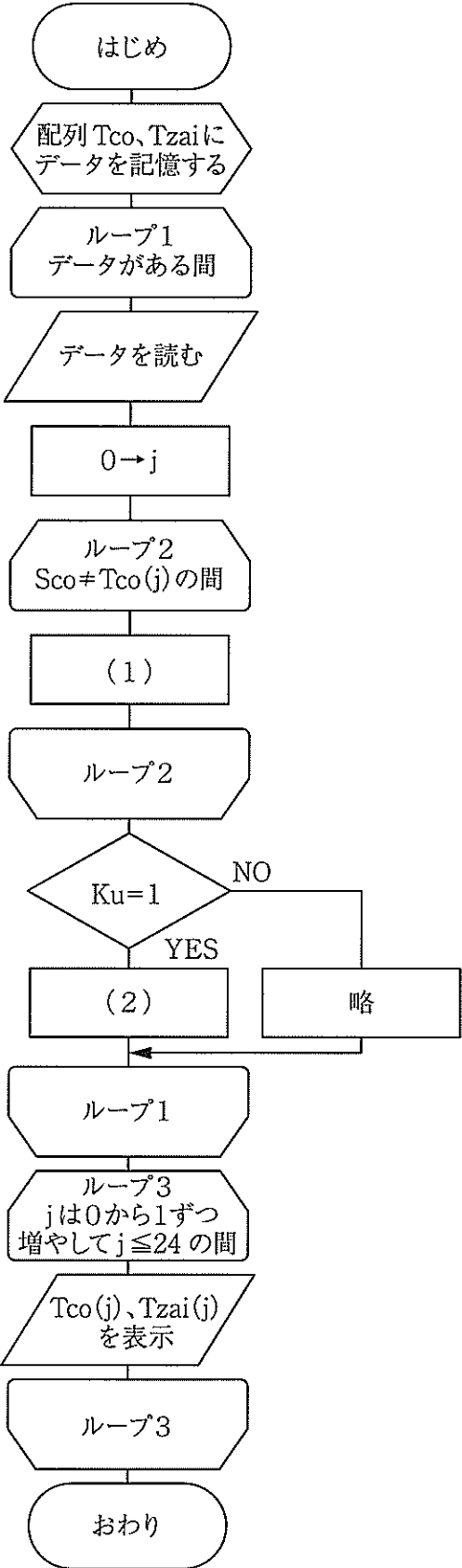


図 2